

資料 1

令和元年度進行管理・評価シート

鶴岡市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）

（最終変更令和2年●月●日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の円滑な推進 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観計画の活用 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

- 1 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 3
- 2 民俗芸能保存伝承支援事業 4
- 3 門前町歴史まちづくり活動支援事業 5
- 4 宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 6
- 5 松ヶ岡振興支援事業 7
- 6 蚕室群活用整備事業 8
- 7 シルクタウンプロジェクト推進事業 9
- 8 城下町つるおかりブランディングプロジェクト推進事業 10
- 9 歴史まちづくり人材育成事業 11
- 10 鶴岡公園園内整備事業 12
- 11 鶴岡公園内堀周辺道路修景事業 13
- 12 散策・休憩施設整備事業 14
- 13 鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 15
- 14 歴史的風致形成建造物保存活用整備補助事業 16

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

- 1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定 17
- 2 文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業 18
- 3 文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力 19

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 大宝館保存修理後 初の企画展ほか12件 20

⑥その他(様式1-6)

- 1 歴史的風致維持向上計画事業実施の効果 21
- 2 歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応 22

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 23

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
計画の円滑な推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

○計画の進捗管理・評価、計画推進に係る事項・計画変更の協議は鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に行う。
 ○建設部都市計画課、教育委員会社会教育課、羽黒庁舎総務企画課及び企画部政策企画課を事務局とし、連絡調整を行い計画の円滑な推進に努める。
 ○必要に応じて鶴岡市文化財保護審議会及び鶴岡市景観審議会などに計画の実施状況を報告し意見を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域が3地区(鶴岡公園とその周辺地区、羽黒手向地区、羽黒松ヶ岡地区)ある本市では、それぞれの地域において整備や振興を支援する担当課(鶴岡公園とその周辺地区:建設部都市計画課、羽黒手向地区:羽黒庁舎総務企画課、羽黒松ヶ岡地区:企画部政策企画課)と文化財事業を所管する教育委員会社会教育課が連携し、3地区で持ち回りのシンポジウムの開催を行うなど計画の進行管理と歴史的まちづくりを通じた本市の魅力増進に努めている。連携に基づく会議等の開催は、令和2年3月13日に副市長をトップとする庁内関係部課長による庁内策定会議、同3月19日には鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)を開催しているほか、都度事務担当者の打合せを実施しながら計画の円滑な進行管理が図られている。

進捗状況 ※計画年次との対応

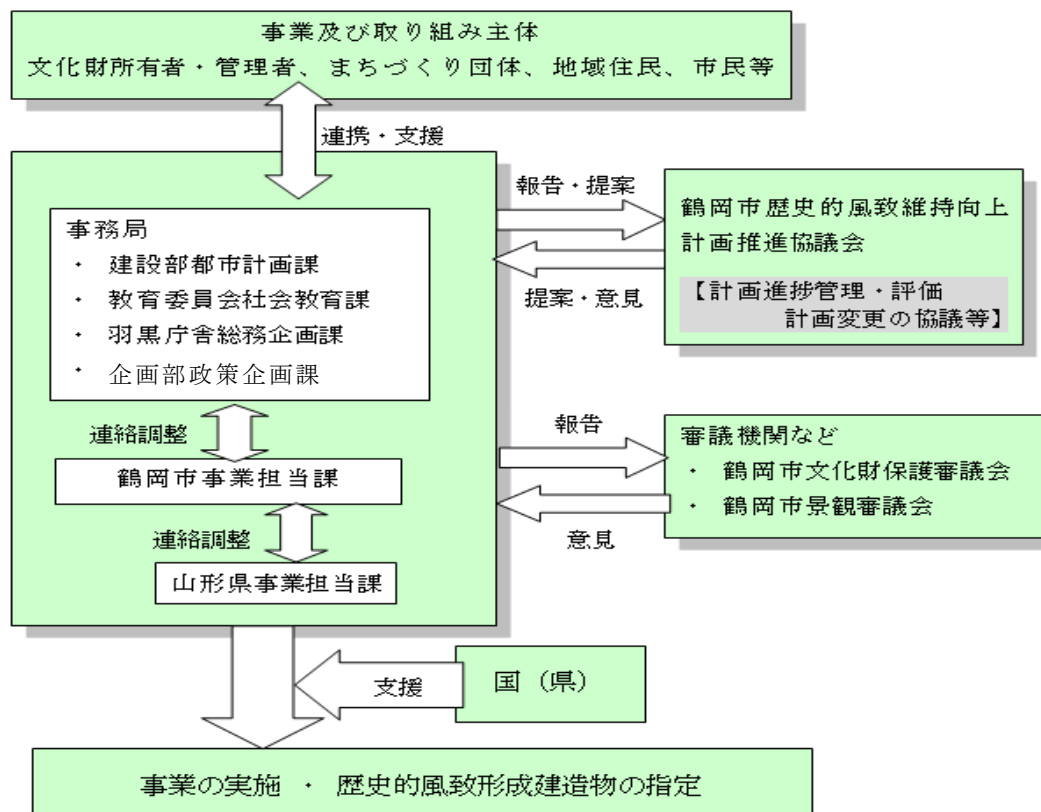
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和元年度庁内策定会議(令和2年3月13日)
 ①令和元年度の事業報告について
 ②令和2年度事業計画について

令和元年度鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会
 (令和2年3月19日 書面会議)
 ①令和元年度の事業報告について
 ②令和2年度事業計画について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
景観計画の活用		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
景観計画地域別方針との適合
大規模建築物等の景観に関する制限

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成20年5月に策定した「鶴岡市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施した。
 ・令和元年度には、景観計画区域内における大規模建築行為について市全域で31件(令和2年2月29日現在)の届出を受け、意匠や色彩に関する指導を実施し、良好な景観形成が図られている。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和元年度における大規模建築物の届出

景観計画区域内における行為の届出

届出件数 31件(令和2年2月29日現在)

届出行為地域別内訳 鶴岡21件、藤島5件、羽黒2件、榎引1件、朝日1件、温海1件

届出対象物内訳 建築物26件、工作物3件、両方2件

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～令和4年度

支援事業名 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画策定報告」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等保存修理の継続と防災設備設置工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成10年度から史跡内建造物の保存修理工事を実施している。令和元年度は5番蚕室の三階屋根椼瓦葺を一旦解体して野地の補修を行い、各瓦材は当初の形式に倣って瓦の葺き替えを行った。屋根葺替後に修理銘札を作製し、建物内に取り付けた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じてきている。計画の見直しを行いつつ確実な実施に向けて努力していく。

状況を示す写真や資料等



5番蚕室背面(完成)



5番蚕室正面(修理前)



作業用通路と足場架設



三階屋根瓦棧取り付け



三階屋根椼瓦葺き



三階屋根大棟瓦取り付け

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
民俗芸能保存伝承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業 山形ふるさと塾形成事業、(財)地域創造助成事業

計画に記載している内容
 無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。
 ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。
 ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。
 ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 ・例年、藤島伝統芸能振興会、高寺八講保存会、町屋神楽保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付した。
 ・市内の無形民俗文化財保存団体を対象に丸高文化財団等の情報提供を行った(平成28年は7件、平成29年度は7件、平成30年度は1件、令和元年度は5件申請)。
 ・昨年度に引き続き『民俗芸能保存団体情報交換会』を開催し、事例発表も取り込みながら各団体がそれぞれの規模でどのような悩みを抱えているか把握し、相互交流を通して活動の存続と発展のための機会とした。
 ・『鶴岡市民俗芸能交流発表会』を開催し、担い手のやりがいの場の創出を図り、また市民が地元の民俗芸能・継承活動を知るうえで貴重な機会となった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

将来的には市内民俗芸能団体同士が組織をつくり、発表会の開催等保存継承のための取り組みを自主的に実施できるように方向づけていく。

状況を示す写真や資料等



助成対象の「両所神社御獅子舞」



助成対象の「山五十川古典芸能保存会」



令和元年度 民俗芸能保存団体情報交換会
 (開催: 令和元年7月25日 会場: 荘銀タクト)



鶴岡市民俗芸能交流発表会
 (開催: 令和元年12月8日 会場: 鶴岡市中央公民館)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
門前町歴史まちづくり活動支援事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 地域の住民や団体等で構成する協議会が主体となって行うまちづくり協議やまちあるきマップの作成、住民合意形成のためのワークショップ、シンポジウム開催等の活動を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史講座「鼎談 山上山下～むかしいま ここから～」を開催し、講座内容を「手向ガイドブックvol.3」にまとめて配布したことで手向地区の歴史・文化への理解を深め、さらに歴史的風致を活用したまちづくりビジョンを策定したことで歴史まちづくり活動における住民の意識が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 出羽三山魅力発信協議会事業

歴史講座「鼎談 山上山下～むかしいま ここから～」の開催および「手向ガイドブックvol.3」の製作
人口減少・少子高齢化等の課題に立ち向かう術や生業の創出につなげるヒントを得るため、先人たちが伝統文化を今に繋いだ歴史を紐解き、様々な困難を乗り越えた知恵を学ぶ歴史講座を開催した。
また、講座内容を「手向ガイドブックvol.3」としてまとめ配付した。

- 期 日 令和元年11月30日(日)
- 場 所 手向地区地域活動センター
- 登壇者 荒澤寺正善院住職 島津慈道氏
出羽三山神社権宮司 阿部良一氏
仲立人 星野文紘氏
- 参加者 60名
- ガイドブック発行部数 500部
- 配布先 魅力発信協議会会員、手向地区住民(全戸配布)



「鼎談 山上山下～むかしいま ここから～」

2. 門前町手向地区地域活力創出ビジョン策定支援事業

手向地区の現状や課題、これから取り組むべきこと、歴史や文化等からなる歴史的風致を活用した事業展開など、住民が策定する門前町手向地区のまちづくりビジョン(未来像)に対し、市が事務局として参加し支援した。昨年度から約1年半行った住民ワークショップでは、各種地域課題の他、地区固有の歴史的風致の維持・保全、それらを活かしたまちづくりの必要性を再確認しながらビジョン作りに取り組んだ。

- 住民WS 令和元年8月19日(月)、9月18日(水)、
10月23日(水)、11月27日(水)、
12月18日(水)、令和2年3月9日(月)
計6回
- 参加者 90名



ビジョン策定ワークショップの開催

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街における沿道部分の外構空間等は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素である。修景を行うことで統一感のある良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用し6件の修景整備が実施され、さらにまちなみの連続性が高まり、良好な景観が形成された。(平成29年度6件、平成30年度7件整備)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用した修景整備
門前町手向地区固有の歴史あるまちなみ保全を目的に、道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構など、宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について、統一感のある修景整備を行う住民に対して、費用の一部を補助した。

- 池ノ仲集落 3件(住宅2件、小屋1件、外構1件)…住居・車庫・門の外観整備及び塗替え
- 桜小路集落 2件(宿坊1件、住宅1件)…車庫外観整備及び模様替え、宿坊看板等設置替え
- 上長屋集落 1件(住宅1件)…車庫の改築



2. 「手向まちなみ委員会」の開催
- 期 日 令和元年6月18日(火)
 - 7月23日(火)
 - 7月29日(月)※現地調査
 - 8月20日(火)※個別相談
 - 8月26日(月)
 - 令和2年1月20日(月)
 - 3月10日(火)
 - 内 容 申請内容等の審査・検討



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
松ヶ岡振興支援事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物を有効活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松ヶ岡地域住民と場内事業者が中心となり策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」(H26年度～R3年度)、また、日本遺産事業の一環として住民ワークショップを通して立案した日本遺産ブランド戦略「松ヶ岡クラフトPARK構想」(H30年度)に基づく具体的なソフト事業として、松ヶ岡の風致を体感できる体験イベント、景観を活かした集客イベントを実施し魅力発信に取り組んだ。併せて、地域の若手との連携強化を進め、交流人口の拡大を図れた。
参考：一番蚕室松ヶ岡開墾記念館の入館者数 H25年度 2,400人 →R元年度(R元年12月時点) 4,700人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 持続可能なイベント体制が必要であり、令和2年度以降も地域プレイヤーを巻き込みながら、収益性、組織化などを引き続き強化する。また、令和2年度は「史跡内及び周辺修景整備事業」にて蚕業稻荷神社周辺を整備する予定である。

状況を示す写真や資料等

○イベントの開催

- ・松ヶ岡桜まつり(4月19日～21日)、オーガニックマルシェ(4月21日)
- ・松ヶ岡茶復活プロジェクト 茶摘み、紅茶づくり体験(7月20日～21日)
- ・松ヶ岡夏祭りWEEK(8月4日～15日)、地口競争(8月13日)
- ・松ヶ岡ハーヴェストWEEK(10月19日～27日)、モノコト展と食と農のマルシェ(10月19日～20日)
- ・日本遺産の日ウィーク2020in鶴岡(松ヶ岡開墾記念館無料開放、竹あかり点灯)(2月13日)
- ・松ヶ岡冬まつりウィーク(2月11日～16日)
- ・松ヶ岡焼で楽しむ新酒を楽しむ会(2月15日)
- ・蚕室ライトアップ&カフェ(2月11日・13日・15日・16日)



松ヶ岡桜まつり



オーガニックマルシェ



茶摘み体験



紅茶づくり体験



松ヶ岡夏まつりWEEK



松ヶ岡ハーヴェストWEEK



モノコト展と食と農のマルシェ



新酒を楽しむ会



大蚕室ライトアップ

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
蚕室群活用整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和4年度
 支援事業名 市単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松ヶ岡開墾場を歴史的資料や財産として保存するだけでなく、価値を高めるために蚕室を講演会や展示会等を開催する施設として年間を通じ活用し、良好な状態で保存されることで、文化的価値の継承につなげる。

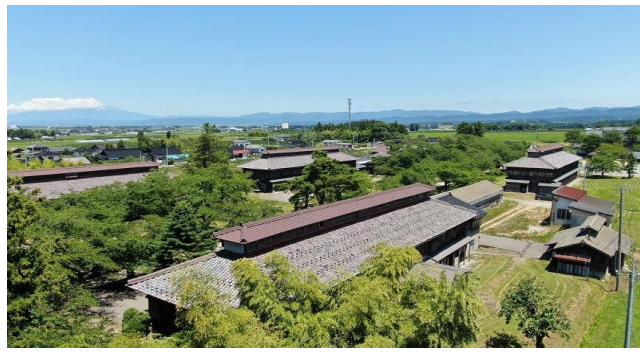
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度に史跡内土地・建造物の確実な保存・伝承のために一部財産を取得し、29年度から2番蚕室から休憩所開設・飲食提供、鶴岡シルクの展示販売等の活用を進め誘客を図っている。30年度には、松ヶ岡開墾場の本質的価値と構成要素を明らかにし、それらを適切に保存管理しながら、各種活用整備の推進の方針として「史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画」を策定した。計画に基づき日本遺産事業と連携しながら年間を通じた活用を推進している。

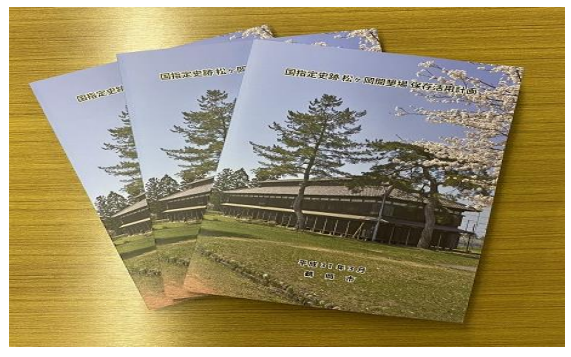
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



史跡松ヶ岡開墾場大蚕室群の取得



国指定史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画



【蚕室の活用整備】
1番蚕室・松ヶ岡開墾記念館リニューアル内覧会



【蚕室の活用整備】
2番蚕室・シルクラボ(令和元年8月11日)



【蚕室の活用整備】スイーツピクニック
(令和元年10月27日)



【蚕室の活用整備】4番蚕室・基本設計打合せ
(令和2年1月30日)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
シルクタウン・プロジェクト推進事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度 ~ 令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国内唯一の絹の地域内一貫生産がある地域において、絹産業や絹文化の歴史を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹産業の文化を保存継承しながら、新たな産業振興と絹文化の創造・発展を目指すため、産業面と文化面から振興策に取り組み、「ひとづくり…福栄地区における養蚕環境整備実証事業、養蚕プロジェクト」「ものづくり…kibiso等鶴岡シルク産業振興事業」「普及啓発…蚕飼育体験、シルクガールズプロジェクト支援、シルクで頑張る若者応援プロジェクト」を展開した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	シルクタウン・プロジェクトは事業開始から10年目の節目を迎え、新たなシルクを活用した地域振興を図るため、来年度からシルクノチカラ未来創造事業を展開する。

状況を示す写真や資料等

- ものづくり…キビソ等鶴岡シルクのブランド化・販売促進(鶴岡織物産地振興事業)
 - ・産地高度化事業…他繊維産地や高度な技術連携による鶴岡シルク、kibiso商品の開発と松ヶ岡開墾場でのPR
 - ・ブランド化事業…海外展開を視野に入れた商品開発、海外マーケティングや「侍絹」ブランド構築
 - ・販売促進事業…海外での企画展示、首都圏・市内観光施設・温泉旅館での催事販売
- ひとづくり…養蚕復興(養蚕環境整備実証事業)
 - ・養蚕環境整備実証事業…閉校の校舎を活用した養蚕環境の整備と人工飼料等による蚕飼育の実証
 - ・養蚕プロジェクト…繭自動選別機開発、ICTによる蚕室内モニタリング・温度管理等による養蚕作業効率化
- 普及啓発
 - ・蚕飼育体験…市内幼・保育園、小・中学校に蚕飼育体験キット配布、3番蚕室での展示飼育
 - ・シルクガールズプロジェクト支援…鶴岡中央高校生徒による鶴岡シルクを通して「地域を元気にする」活動(食べるシルク、魅せるシルク、伝えるシルク)を支援
 - ・シルクで頑張る若者応援プロジェクト…シルクに関わる若者の創造性と活動を伸ばすため、市内高校等の生徒等市が「絹」をテーマとして取り組む課題研究へ支援。活動の成果等をシルクノチカラ2019(令和元年11月23日(荘銀タクト鶴岡))で市民等にPR



養蚕環境整備実証事業



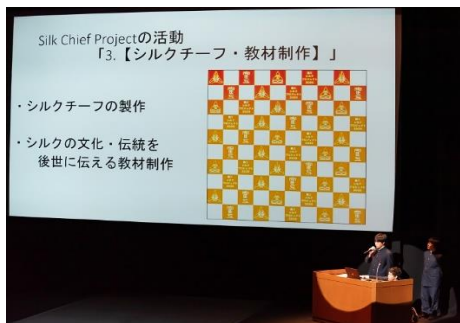
kibiso・shop(松ヶ岡開墾場)



蚕室での展示飼育



シルクガールズプロジェクト
地域を学ぶシルクツアー



シルクノチカラ2019
高校生の課題研究発表



シルクノチカラ2019
シルクガールズ10周年コレクション

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
<p>城下町つるおかリブランディングプロジェクト推進事業 【鶴岡公園とその周辺地区、羽黒松ヶ岡地区】</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度 ~ 令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	<p>松ヶ岡開墾150年(2021年)、酒井公入部400年(2022年)に向けて、各種調査、普及啓発を行うとともに、上質な街並みや景観などの空間整備、歴史的建造物の保存活用を関係団体等と連携して検討、整備する。また、これらを資源とする戦略的な観光誘客などを展開する。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>令和元年度から、政策企画課、総務課、観光物産課、社会教育課、都市計画課による城下町つるおかリブランディングプロジェクト事業庁内会議を5回開催し、推進体制や関連事業について調整を重ねてきた。これを踏まえ、令和2年3月18日に、経済・文化振興・観光・教育・報道等の各分野の方々を委員とする酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会を設立し、令和4年度までの全体計画、記念事業等について審議した。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>【酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会の様子】追加</p>			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
歴史まちづくり人材育成事業 【鶴岡公園とその周辺地区・羽黒手向地区・羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和4年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業
社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の所有者・管理者、鶴岡市ガイドボランティア及び市民等を対象とした、文化財や歴史及び歴史的景観等とその活かし方等に関する学習機会を創出し実施する。
また、歴史的建造物の保全・活用推進を索引していく人材の発掘や育成、歴史的資源の利活用のマネジメントのための学習機会の創出等について関係者を交えた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【羽黒松ヶ岡地区】 松ヶ岡本陣留守居役配置、日本遺産インフォメーションセンター開設
・「本陣」では5人の地元ボランティアが「留守居役」として説明等に当たり、歴史的建造物の理解促進につとめた。(来館者数923人)。また、10月1日から日本遺産インフォメーションセンター(新徴屋敷)が開設し、来場者に対して松ヶ岡開墾場の案内と日本遺産「サムライゆかりのシルク」について紹介した(来館者数1,162人)。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【羽黒松ヶ岡地区】
日本遺産インフォメーションセンター (新徴屋敷) 開設式
(令和元年10月1日)

【案内の様子(後日追加予定)】

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
鶴岡公園園内整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度 ~ 令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 鶴岡公園整備基本計画に基づいた北ブロック(歴史文化ゾーン)整備計画書に基づいた事業を実施する。園路・参道・公園入り口の整備(舗装化、石貼りなどユニバーサルデザイン化)、城址公園内トイレ改修工事、禽舎正面広場の整備および老木樹木の再整備を行う。

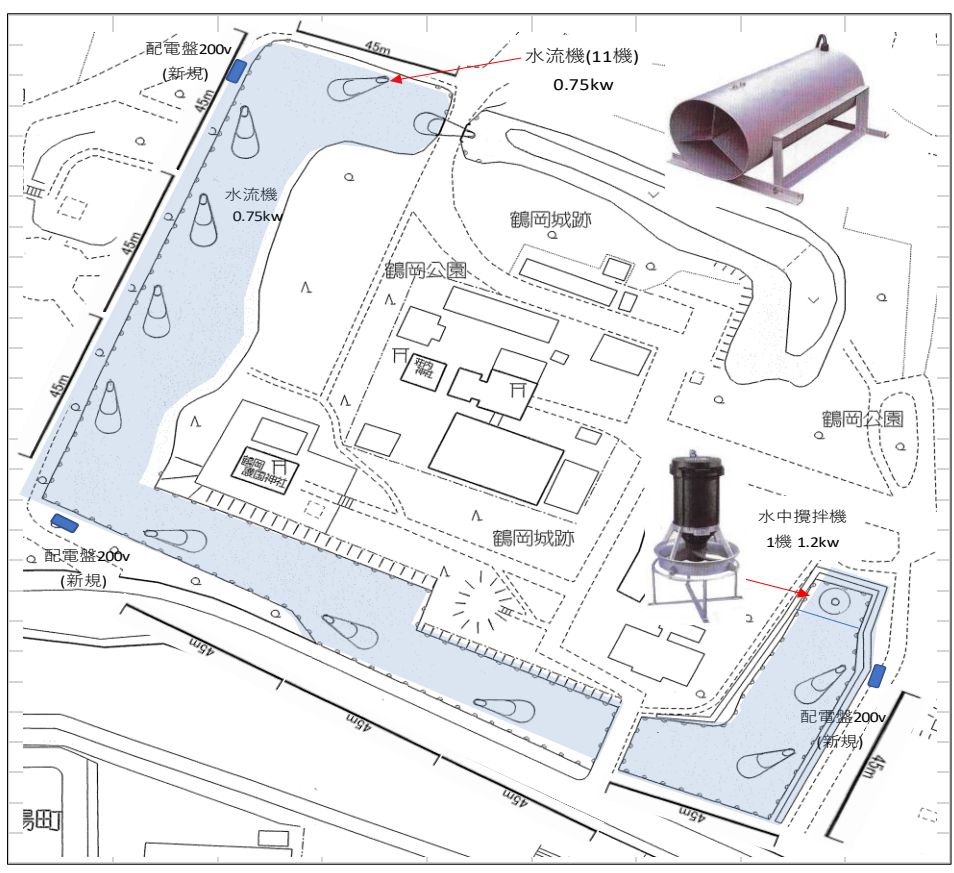
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・鶴岡公園整備基本計画に基づき、水質が悪化しアオコの発生など公園景観の悪化の元となっている内堀について水質改善のため水中攪拌機1基、水流発生機7基を設置した。
・水流発生機の設置効果について山形大学農学部へ依頼し効果検証を行った結果、一定の水質改善が図られたことが確認された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



	場所	機種	数量
内堀	菖蒲園	水流機	1機
	西側	水流機	5機
	南側	水流機	3機
	東側	水流機	2機
	越冬池	水中攪拌機	1機

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
鶴岡公園内堀周辺道路修景事業 (市道鶴岡公園新形町線歩行者空間整備事業) 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度 ~ 令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 ワークショップや関係団体等との意見交換を実施し、鶴ヶ岡城の内堀周辺道路である市道鶴岡公園新形町線の修景整備について、整備のあり方を検討する。検討内容を踏まえた修景整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鶴岡公園内堀周辺道路修景整備に係る無電柱化事業を行い当該路線に存する東北電力柱13本及びNTT柱1本、共架通信線一式、東北公益文科大学通信線路一式、防犯灯9基、山形県警街頭緊急通報システム通信線一式の移転補償を行い、無電柱化が完了した。
 景観整備に伴い一部狭隘となっていた鶴岡工業高校敷地の用地買収を行い擁壁及び立木等の移転補償が完了し、舗装整備を行ったことによりボトルネックが解消された。

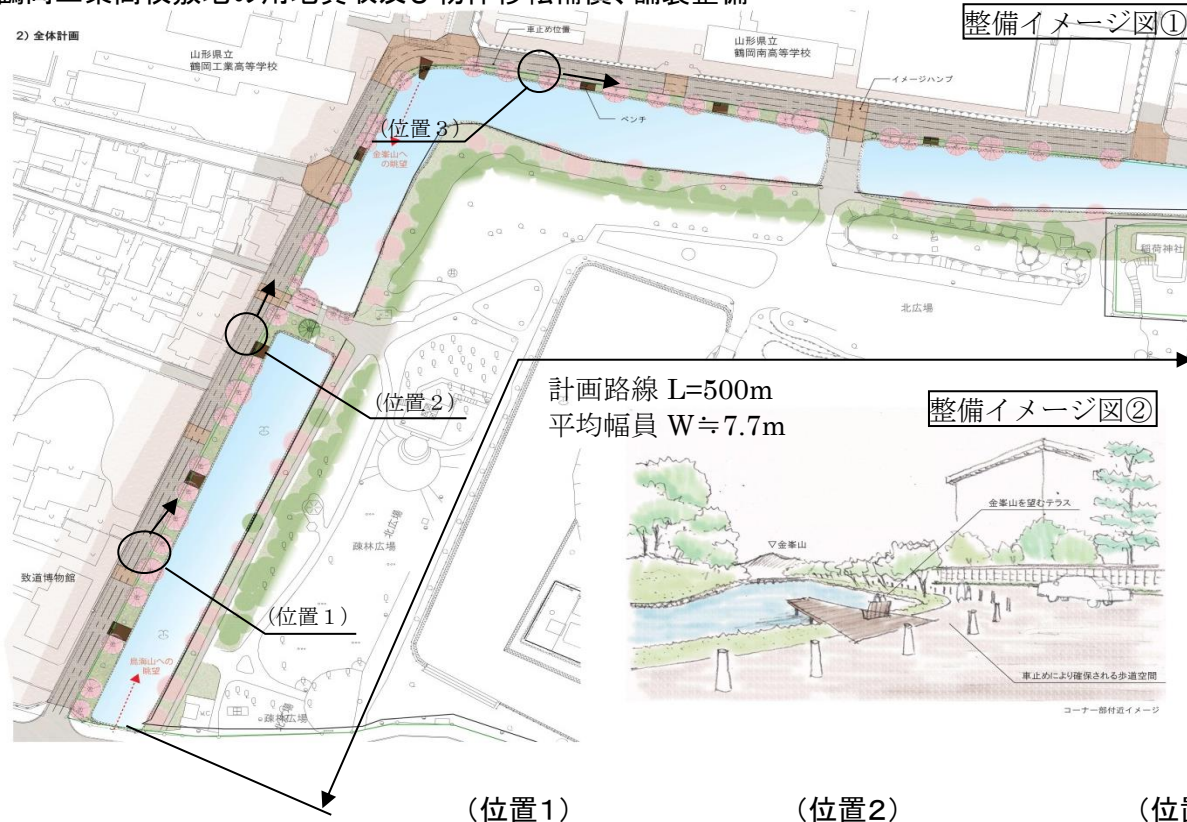
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【令和元年度】

- 電力柱及び電話柱、共架線一式の移転補償
- 県立鶴岡工業高校敷地の用地買収及び物件移転補償、舗装整備



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
散策・休憩施設整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】、【羽黒手向地区】、【羽黒松ヶ岡地区】			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度 ~ 令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致を形成する建造物や人々の活動、それらをつなぐルート上に、歴史資源情報や歴史まちづくりに関する情報、地元食材を使用した軽食等の提供が可能な休憩スペースの整備、歴史的景観に配慮した案内板・説明板設置について、関係団体等と連携し検討、整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

案内サイン整備事業

観光地等における来訪者の周遊促進を図るため、鶴岡市サイン計画(歴史的風致重点地区)を策定し、①鶴岡公園とその周辺地区、②羽黒手向地区、③羽黒松ヶ岡地区の三重点地区を中心に案内サイン整備を行うもので、令和元年度は羽黒手向地区の蝦夷館公園、手向地区地域活動センター、いでは文化記念館前に多言語表記の総合案内サイン3基の整備を行い、外国人来訪者の回遊性の向上が図られた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



蝦夷館公園



手向地区地域活動センター



いでは文化記念館前



板面デザイン

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 【鶴岡市内】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	鶴岡市の歴史まちづくりに関する講演とシンポジウム、重点区域のまち歩き等を組み合わせた事業を実施している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
鶴岡市歴史的風致維持向上計画の認定を記念し、今後、市民と協同で歴史まちづくりを推進するため、3つの重点区域持ち回りで毎年シンポジウムを開催している。令和元年度は、令和元年10月23日(水)に次の内容により開催し、約100名の市民が来場し、歴史まちづくりへの住民意識向上が図られた。 【内容】 1. 基調講演 ■演題:「城下町鶴岡の歴史的風致と現代的まちづくりの融合」 ■講師:小沢 明 氏(東北芸術工科大学名誉教授) 2. パネルディスカッション ■テーマ:「鶴岡の歴史まちづくりの将来展望」 コーディネーター:佐藤 滋 氏(早稲田大学大学院教授)、アドバイザー:小沢 明 氏 パネリスト:高谷時彦 氏(東北公益文科大学特任教授)、高瀬雅弘 氏(弘前大学教育学部教授)、秋野公子 氏(山形県建築士会鶴岡田川支部副支部長)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくりシンポジウム

つるおか
歴まち 令和元年

歴史まちづくりシンポジウム

～城下町鶴岡の未来を見据えて～

市民レベルでの歴史まちづくりの機運をさらに高めるため、多角的な視点から鶴岡の歴史まちづくりについて意見交換し、鶴岡の歴史的資源が持つ可能性を再確認した上で、城下町鶴岡の将来に向けた歴史まちづくりを考える契機とすべく、シンポジウムを開催いたします。

日時 令和元年10月23日(水) 午後2時から
会場 鶴岡まちなかキネマ (鶴岡市山王町13-36)

【講演】
 演題:「城下町鶴岡の歴史的風致と現代的まちづくりの融合」
 講師: 小沢 明 氏 (東北芸術工科大学名誉教授)
鶴岡アートフォーラムの設計者として知られ、日本建築学会東北建築賞等数々の受賞歴がある。2002年から2006年まで東北芸術工科大学学長を務める。

【パネルディスカッション】
 テーマ:「鶴岡の歴史まちづくりの将来展望」
 コーディネーター 佐藤 滋 氏 (早稲田大学大学院教授)
 アドバイザー 小沢 明 氏 (東北芸術工科大学名誉教授)
 パネリスト 高谷 時彦 氏 (東北公益文科大学特任教授)
 高瀬 雅弘 氏 (弘前大学教育学部教授)
 秋野 公子 氏 (山形県建築士会鶴岡・田川支部副支部長)

問合せ・申込み: 鶴岡市役所 都市計画課
 TEL 0235-25-2111(内線:492) FAX 0235-25-2059



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物保存活用整備補助事業 【鶴岡市内】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度 ~ 令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物について公開による保存活用を図るために所有者が行う外観修景、内装整備等の事業について補助を行う。

令和元年度は、歴史的風致形成建造物に指定され、日本遺産「サムライゆかりのシルク」の構成文化財である市指定有形文化財「松ヶ岡開墾士住宅(新徴屋敷)」の石置き屋根の改修等の復元改修工事について、助成を行った。当該建造物は、令和元年10月1日より史跡松ヶ岡開墾場の総合案内、日本遺産ガイド活動機能を併せ持つ施設として活用され、松ヶ岡開墾の歴史的価値や魅力について多くの来場者に周知を図り、松ヶ岡開墾場の歴史的風致の維持向上に資することができた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

補助事例

令和元年度:「松ヶ岡開墾士住宅(新徴屋敷)」



整備前



整備前



施工中



整備後

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

- ・未指定文化財について、必要に応じ調査を行い、市指定や国の登録制度を活用することを検討するなどし保存継承に努める。
- ・埋蔵文化財包蔵地については、現状把握及び適切な保護措置に取り組む。また、未発見の埋蔵文化財の保護のため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。
- ・鶴岡市文化財保護審議会により、文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じ調査研究を行うなどし意見具申を行う。
- ・保存活用計画の未策定文化財については、文化財としての価値を毀損することのないように適切な保存と活用について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述)※定量的評価は可能な範囲で

- ・埋蔵文化財調査及び未指定文化財の現況調査を実施した。
- ・国指定史跡松ヶ岡開墾場については、毎月第1水曜日に事業所連絡会の開催し、11～15名の出席を得て市と関係者の意思疎通を図った。2月26日には保存活用計画の地元説明会を開催、関係者16名が出席し市による説明や意見交換を行った。これらの開催を通じて事業者や地域の関係者の理解を得ることにより史跡内の保存活用計画を推進できた。
- ・名勝金峯山では保存活用計画を策定後、今年度は保存活用検討会を開催し、所有者及び有識者による活用計画の情報共有を図り整備内容の検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○埋蔵文化財等文化財調査

- ・現地踏査実施箇所 1ヶ所 荒沢須恵器窯跡近接地
- ・立会調査実施箇所 5ヶ所 「平形B遺跡」「向館跡」「鶴ヶ岡城跡」及び近接地
- ・試掘調査実施箇所 2ヶ所 「荒沢須恵器窯跡近接地」「鶴ヶ岡城跡」
- ・埋蔵文化財包蔵地に係る各種事業照会(令和2年2月10日現在) 公共事業 30件、民間事業208件 合計239件

○文化財指定

- ・文化財保護審議会 2回開催(8月26日、令和2年2月21日開催)
- ・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会 総会(6月7日)
- ・鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会 総会(6月13日)

○計画策定等

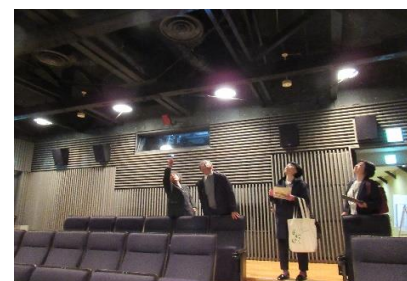
- ・史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画地元説明会(2月開催)
- ・史跡松ヶ岡開墾場事業所連絡会(毎月第一水曜日開催)
- ・名勝金峯山保存活用整備検討会 9月20日開催



鶴岡公園(鶴ヶ岡城跡)
試掘調査



令和元年9月20日
名勝金峯山保存活用整備検討会



令和元年11月6日
文化庁調査官による現地調査

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・文化財の修理について、所有者及び管理者等と連携し、適切な助言や必要な支援措置を検討し進める。
- ・指定文化財の保存修理にあたっては過去の調査記録などの成果を活用するとともに、有識者、専門家より意見聴取を行い、それらの知見を踏まえた総合的な整備を図る。
- ① 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業
- ② 重要文化財羽黒山正善院黄金堂防災事業
- ③ 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業及び防災事業
- ・文化財の周辺環境は、関係規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高品質・美装化や無電線化などの整備事業など文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。
- ・文化財建造物について、所有者及び管理者と連携し自動火災報知設備及び消火器具等の設置を図り、所有者及び地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努める。
- ・文化財を展示公開している施設について、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡松ヶ岡開墾場の保存修理事業を実施した(5番蚕室3階屋根根椽瓦葺き及び瓦葺替工事)。
- ・重要文化財 旧鶴岡警察署庁舎、旧西田川郡役所及び旧渋谷家住宅の防災施設等整備とし、国庫補助事業により平成29年度から2ヶ年事業で実施した。
- ・史跡松ヶ岡開墾場脇の整備の一環として市指定有形文化財「松ヶ岡開墾士住宅」の整備工事を平成30年度から2ヶ年事業で実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じてきている。計画の見直しを行いつつ確実な実施に向けて努力していく。

状況を示す写真や資料等

○史跡松ヶ岡開墾場 保存修理工事



史跡松ヶ岡開墾場 5番蚕室三階屋根根椽瓦葺き
葺き替え工事(作業中)



史跡松ヶ岡開墾場 5番蚕室三階屋根根椽瓦葺き
葺き替え工事(竣工)

○史跡松ヶ岡開墾場 市指定有形文化財「松ヶ岡開墾士住宅」整備工事



「松ヶ岡開墾士住宅(新葺屋敷)」整備状況

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めるなど啓蒙普及を図る。また、特に重点区域においては、案内板整備及び説明板や解説資料の充実も図る。
- ・文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、気軽に親しむことができる機会の創出及び市広報やHPを活用し情報発信を行う。
- ・様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化的重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市内の文化財を知る機会や守り伝えていく啓発事業として親子編及び大人編とし文化財めぐりを開催した。
- ・文化財の保存修理工事見学会を開催し、当時の建築技術等を市民の方へ伝える機会を創出した。
- ・民俗芸能交流発表会を開催し、地域に伝わる伝統芸能を広く市民の方へ周知する機会を創出した。
- ・文化財施設によるお茶会等が開催され、歴史を伝え、文化財に触れる機会が創出された。
- ・研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。令和元年度は、協会の活動のひとつである、地域愛護会の看板設置(2団体)に補助した。
- ・文化財防火デーとし、防火訓練を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



R1.9.29 「親子で文化財を巡る」(参加者親子9組 21名)
(常念寺)



R1.10.26 「文化財探訪」(参加者10名)
(鶴岡市埋蔵文化財整理室)



R1.12.8 民俗芸能交流発表会
鶴岡市中央公民館(来場者約250名)



R1.8.3 金峯神社本殿保存修理工事見学会
(参加者39名)



鶴岡市文化財愛護協会補助事業
文化財説明看板



R2.1.24 文化財防火デー
致道博物館

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	令和元年度
	年月日	掲載紙等
大宝館保存修理後 初の企画展	H31.4.11	荘内日報
手向 光の道プロジェクト	H31.4.12	荘内日報
手向 提灯ロード	H31.4.16	荘内日報
国重文の被害を調査 文化庁 致道博物館2施設など	R元.7.4	山形新聞
国宝 羽黒山五重塔 ライトアップ始まる	R元.7.15	荘内日報
開墾士の住居 案内所に 鶴岡・松ヶ岡「新徴屋敷」見学、休憩可	R元.10.2	山形新聞
案内機能備え公開始まる 鶴岡・松ヶ岡「開墾士住宅」復元完了し開設式	R元.10.2	荘内日報
エルサンワイナリー醸造施設 来夏完成向け地鎮祭	R元.10.2	山形新聞
街に余白 豊かさ実感 芸工大名誉教授が講演	R元.10.26	山形新聞
鶴岡の未来見据え 歴史まちづくりシンポジウム 小沢さん(芸工大元学長)「文化都心」形成語る	R元.10.28	荘内日報
鶴岡公園の景観 観光活用策学ぶ 商議所など	R元.11.27	山形新聞
城下町・鶴岡の景観形成は 鶴岡商工会議所勉強会 中心市街地環境整備へ意見交換	R元.11.28	荘内日報
鶴岡 松ヶ岡開墾場 2施設リニューアル	R元.12.18	山形新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の歴史的風致について広く報道されている。歴史的建造物を会場としたイベントやシンポジウムに関する記事も見られ、これを通して市民の間で歴史まちづくりが進展していることに関して関心が喚起されていると考えられる。また、鶴岡公園周辺に関する景観形成について、地元商工会議所からの招聘で勉強会を開催するなど、経済界においても本市の歴史的風致向上への機運醸成が感じられる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



大宝館



松ヶ岡開墾士住宅(新徴屋敷)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 | 令和元年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【鶴岡市における外国人宿泊者数の推移】

外国人延べ宿泊者数については、計画認可を受けた平成25年は2,760人であったが、当該計画事業実施による歴史的風致の向上等魅力ある観光資源の構築が図られ、以後毎年増加傾向にあり、令和元年においては13,047人と4.7倍の増加となっている。

※平成29年度(2017年度)は4月に異例の大量宿泊があったもので、一時的なものと思われる。

【羽黒手向地区】

地区の歴史を学ぶ講座や出羽三山魅力発信協議会講演会を開催し、地域内外へ手向地区の出羽三山からなる歴史や文化等の魅力を発信するとともに、住民の歴史まちづくり活動に対する意識の醸成が図られた。

また、門前町手向地区地域活力創出ビジョンが完成したことで、今後さらに住民主体の歴史まちづくり活動が活発になることが期待される。

【羽黒松ヶ岡地区】

・大駐車場、史跡内通路、総合案内看板が設置された。また、日本遺産インフォメーションセンターとして市指定文化財新徴屋敷が公開され、日本遺産と松ヶ岡開墾場のガイド活動が展開され、来訪者の利便性が高まっている。

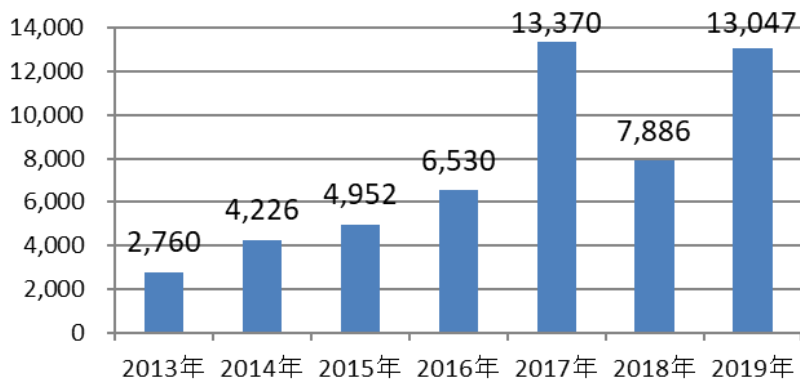
・平成31年1月から、日本遺産アドバイザー・中山ダイスケ氏を中心に、地域住民、場内事業者、高校生などと松ヶ岡開墾場の利活用を考えるワークショップをもとに「松ヶ岡クラフトPARK構想」が定まり、同構想に基づき史跡景観、建物を活用した事業が企画され、新たな興味層の掘り起こしが進んでいる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



鶴岡市における外国人延べ宿泊者数の推移 (人泊)
※観光庁「宿泊旅行調査」より



【羽黒手向地区】
歴史講座
「鼎談 山上山下～むかしいまここから～」



【羽黒松ヶ岡地区】
松ヶ岡夏まつりWEEK
「松ヶ岡SILKグランピング」
(令和元年8月13日)



【羽黒松ヶ岡地区】
日本遺産インフォメーションセンター
(新徴屋敷)「ガイド研修会」
(令和元年9月23日)



【羽黒松ヶ岡地区】
松ヶ岡ハーヴェストWEEK
「開墾スピリット親子塾」
(令和元年10月27日)

評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 | 令和元年度

項目

歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市内の学生・町内会等への歴史景観づくりの説明、他自治体からの視察対応、歴史的風致維持向上計画関連会議・サミット等への参加と計画内容説明により、計画の周知を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

- R元. 9. 26~28 弘前大学高瀬研究室「地域社会調査・鶴岡市現地調査」
弘前大学教育学部高瀬教授の研究活動として、鶴岡市内にある歴史的な趣のある建造物について、所有者の方から建物への想いや記憶について聞き取りを取りまとめ、報告書による記録保存を行っており、市はこれら聞き取り調査について同行等協力を行った。
- R元. 10. 24~25 歴史的景観都市協議会への参加
対象者：全国の歴史まちづくり所管課、まちづくり関係者 全国より112名参加
- R2. 1. 20~21 東北・歴史まちづくり推進会議への参加
対象者：各県・市町村の文化財保護部局、まちづくり部局の職員

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和2年3月19日(木) 書面会議	
(コメントの概要) 【会議結果】 ・令和元年度事業についての評価報告の承認 ・令和2年度事業計画の承認 【主なコメント】	
第8回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会 (R2.3.19 書面会議)	
(今後の対応方針)	